

2025年10月9日

各位

東京都台東区東上野一丁目7番15号
ヒューリック東上野一丁目ビル5階
株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号: 6255 東証グロース)
問合せ先 専務取締役 廣澤 一夫
(TEL 03-6240-1206)

中期経営計画の取り下げ及び公表見送りに関するお知らせ

当社は、2024年10月15日付「中期経営計画に関するお知らせ」において公表した数値目標（2025年8月期～2027年8月期）を取り下げ、併せて、2027年8月期以降の中期的な数値目標の公表を見送ることといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画取り下げ及び公表見送りの背景

当社は、2024年10月15日に2027年8月期を最終年度とする3か年の数値目標を公表し、その達成に向けて取り組んでまいりました。しかし、以下の理由により、当該数値目標に対して妥当性や正確性を担保することが困難になったと判断し、2027年8月期を最終年度とする数値目標を取り下げ、2027年8月期以降の中期的な数値目標の公表を見送ることといたしました。

(主要顧客である米国太陽電池メーカーの動向)

米国において関税や再生可能エネルギーに対する政策の見直しが行われたことで、主要顧客である米国太陽電池メーカーが原材料等のサプライチェーンの見直しを進めており、同社の設備投資動向の予測が不確定な状況となっていること。

(ペロブスカイト太陽電池の市場動向)

ペロブスカイト太陽電池は新規性が高く、将来の市場規模や本格的な市場拡大タイミングは、各太陽電池メーカーの開発及び検証の進捗に大きく依存するため、中期的な装置需要を予測することが現時点で困難な状況であること。

(FA装置における電子部品業界の顧客動向及び新規顧客の開拓状況)

第二の主要顧客と位置付けた国内の電子部品業界の顧客において、半導体市場の影響により設備投資が停滞していること。一方、代替となる安定顧客の新規獲得に取り組んでいるが、現時点では十分な成果を得ることができていないこと。

2. 中期経営計画の開示方針等について

当面の間は、単年度ごとの業績見通しを着実に達成すべく専念してまいります。今後、当社を取り巻く事業環境等を総合的に勘案し、合理的な中期業績の策定が可能となった時点で、改めて中期的な数値目標の公表を検討いたします。

なお、一時的に中期的な数値目標の公表を見送る判断をしましたが、米国の主要顧客へ取り組みは継続しつつ、ペロブスカイト太陽電池製造装置や太陽光パネルリサイクル装置等の成長分野を伸ばしていき、中期的に業績を向上させていくという方針に変更はございません。なお、当社を取り巻く環境や将来的な取り組みの詳細については、2025年10月10日に開示予定の「2025年8月期決算説明会資料」にてご確認いただけますと幸いです。

以 上